

# 小平市下水道プラン進捗状況

《平成 30 年度実績》

～快適な生活環境を支える下水道～

令和元年 月

小 平 市



## 1 小平市下水道プラン進捗状況の公表について

小平市では、下水道事業をとりまく環境及び下水道が抱える課題を踏まえ、中・長期的な視点に立った今後の下水道事業のあり方（方向性）を示すことを目的として、下水道における総合的な計画「小平市下水道プラン」（計画期間：平成 23 年度～令和 2（平成 32）年度）を平成 22 年度に策定しました。

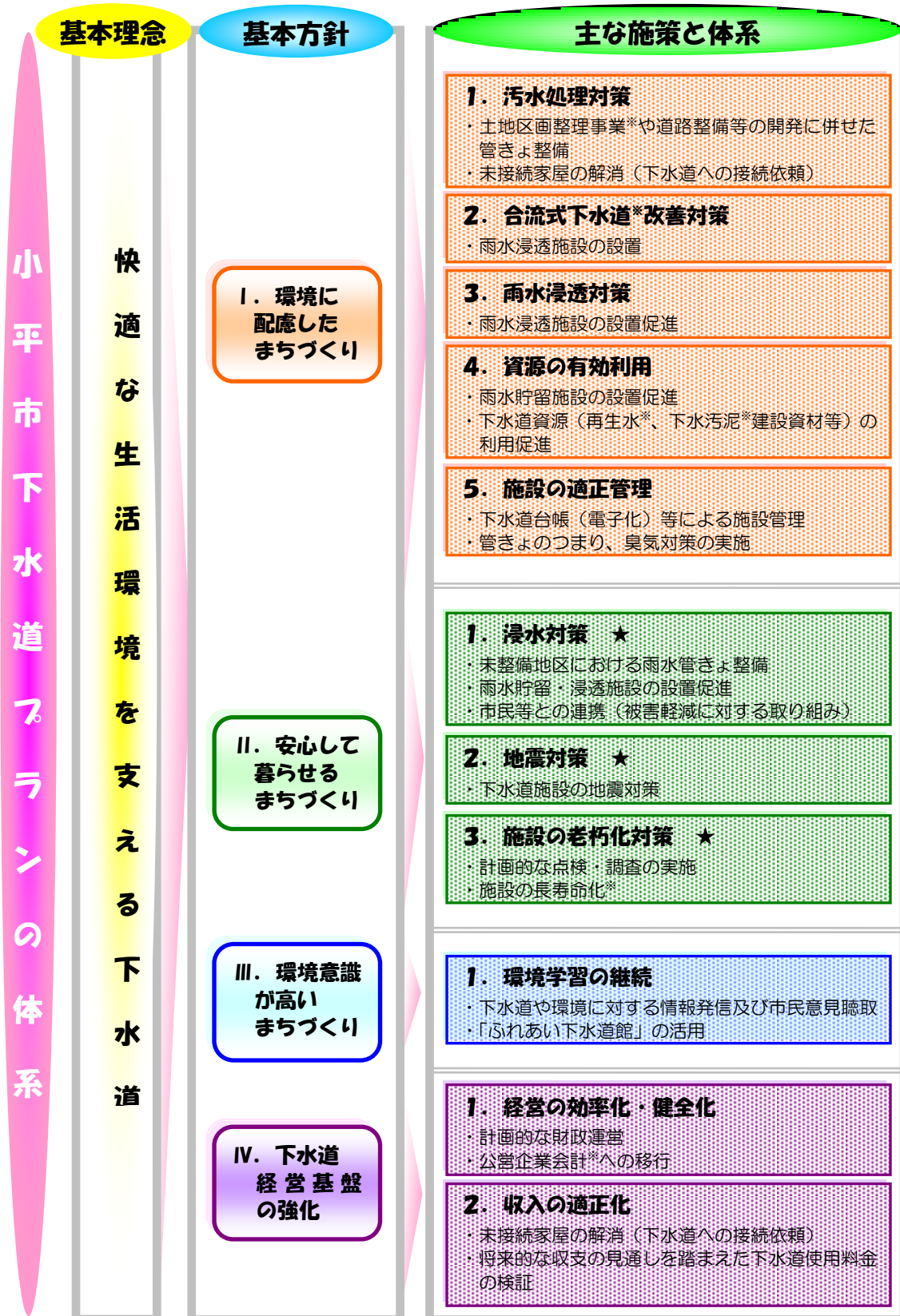
また、平成 27 年度に計画期間の中間年を迎えたことから、後期 5 年間の「後期計画」について見直しを行い、「小平市下水道プラン後期計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 2（平成 32）年度）として公表しました。

このたび、小平市下水道プランに基づく施策の平成 30 年度の進捗状況について取りまとめましたので、公表します。



## 2 小平市下水道プラン後期計画の体系

小平市下水道プランの基本理念「快適な生活環境を支える下水道」を実現するための基本方針及び後期計画の施策の体系を以下に示します。（★は後期計画における重点施策を示します。）



### 3 各施策の進捗状況《平成 30 年度実績》

小平市下水道プランに基づく事業の平成 30 年度の実績数値等を以下に示します。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	平成 30 年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	1 汚水処理対策	(1) 土地区画 整理事業や道 路整備等の開 発に併せた管 きよ整備	目標 開発に併せた 遅滞ない整備	整備路線  1 路線 ・ <b>3 路線*</b>	小川四番土地区画整理事業に伴う管きよ新設  (平成 28 年度：2 路線) (平成 29 年度：0 路線)  【後期計画目標達成率：60.0%】
		目標数値等 整備路線 ： 5 路線 (平成 28 年度から令 和 2 年度ま で)			
	(2) 未接続家 屋の解消（下 水道への接続 依頼）	目標 下水道への 接続促進	水洗化され ている可能 性が高い家 屋を中心に、 個別の聞き 取り調査及 び排水設備 の実態調査 を実施	個別訪問調査実施件数 117 件(163 世帯)  《参考》 水洗化率（％）＝下水道で汚水を処理してい る世帯数／処理区域内世帯数×100 (平成 22 年度末水洗化率：97.3%) (平成 27 年度末水洗化率：99.2%) (平成 28 年度末水洗化率：99.3%) (平成 29 年度末水洗化率：99.8%) (平成 30 年度末水洗化率：99.8%)	
2 合流式下水道改善対策	(1) 雨水浸透 施設の設置	目標 雨水浸透ま すの設置	雨水浸透 ます設置数	20 基 ・ <b>60 基*</b>	合流式下水道改善工事：1 件実施 20 基設置 工事箇所：小川西町四丁目・五丁目  (平成 27 年度設置数（下水道課）：19 基) (平成 28 年度設置数（下水道課）：20 基) (平成 29 年度設置数（下水道課）：20 基)  【後期計画目標達成率：60.0%】
		目標数値等 設置基数 ：100 基 (平成 28 年 度から令和 2 年度まで、 年間 20 基 程度)			

※は、下水道プラン後期計画初年度の平成 28 年度からの累計を示します。（以後同様）

土地区画整理事業	都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るため行われる土地の区画形質の変更及び公共施設の新設または変更に関する事業をいう。
合流式下水道	汚水及び雨水を同一の管きよで排除し、処理する方式。分流式に比べ管路施設の建設が容易（経済的・効率的）である一方、雨天時に汚水の一部が公共用水域へ未処理で排出されるため、汚濁負荷量、病原性微生物等による公衆衛生上の安全性、きょう雑物による景観に関する課題がある。（昭和 45 年 12 月の下水道法改正以降に策定された下水道計画は、分流式下水道により整備が行われている。）
雨水浸透ます	雨水ますの底部に穴を開け、その周囲に砂利を敷き並べ、そこから雨水を地下に浸透させるもの。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	平成30年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	3 雨水浸透対策	(1) 雨水浸透施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による設置促進	浸透量 23.4m <sup>3</sup> /hr ・ <u>70.2m<sup>3</sup>/hr</u> *	I-2「合流式下水道改善対策」による  (平成28年度浸透量：23.4m <sup>3</sup> /hr) (平成29年度浸透量：23.4m <sup>3</sup> /hr)  【後期計画目標達成率：60.0%】
		目標数値等 設置浸透量：約117m <sup>3</sup> /hr (平成28年度から令和2年度まで)			
	4 資源の有効利用	(1) 雨水貯留施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による雨水貯留施設の設置促進	雨水貯留施設設置数  3 ・ <u>4</u> *	(平成28年度設置施設数：1件) (平成29年度設置施設数：0件) (平成30年度設置施設数：3件)
		目標数値等 新規公共施設への雨水貯留施設の設置			
	5 施設の適正管理	(2) 下水道資源(再生水、下水汚泥建設資材等)の利用促進	目標 再生水の利用継続及び建設資材等の利用促進検討	再生材使用率  100%	市施工工事において、使用した鉄筋コンクリート管φ700mm(L=4.1m)の全延長で再生材を使用。  (平成28年度再生材資料延長：φ700~1,000mm、L=298.01m) (平成29年度再生材資料延長：φ800mm、L=5.26m)  【年度目標達成】
			目標数値等 再生材使用率：100%		
5 施設の適正管理	(1) 下水道台帳(電子化)等による施設管理	目標 システムの継続的な活用	管路調査成果の取り込みが可能な、新システムの構築完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のシステムを廃止し、タッチパネル方式で閲覧できる新規下水道台帳システムの構築と、自由に印刷できる課金機を設置した。</li> <li>新規下水道台帳システムの機能として、インターネット閲覧を併せて構築し、閲覧者の利便性を図るとともに、長寿命化対策等の管路調査、改築工事、修繕などのデータの取り込みや、台帳データの更新等を職員が容易にできるシステムを構築した。</li> </ul>	
		目標数値等 管路調査成果の取り込み(システム機能拡充)			
5 施設の適正管理	(2) 管きよのつまり、臭気対策の実施	目標 下水道への排出に対するPR及び定期的な点検の実施	PR・点検等実施回数  6回	これまでロード詰まりのあった店舗及び詰まりの可能性のある店舗について、公共汚水ます、排水設備及び周辺のマンホールの点検を行うとともに、各店舗にロード処理に関する定期的な清掃を依頼した。  【年度目標達成】	
		目標数値等 PR実施回数：3回/年			

再生水  
下水汚泥

高度処理等によって、種々の再利用に適するようになった下水。  
下水処理場等から下水を処理した際に発生する泥状物質。

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	平成30年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
Ⅱ 安心・安全なまちづくりの実現	1 浸水対策 ★	(1) 未整備地区における雨水管きよ整備	目標  目標数値等	浸水被害歴がある地区の整備  浸水被害歴地区整備進捗率 : 100% (雨水管きよ整備率 : 21.1%)	浸水被害歴地区整備進捗率  2.2% ・ <b>97.7%***</b> (雨水管きよ整備率 : 1.1% ・ <b>20.2%***</b> )	雨水管渠築造工事：7件実施 工事箇所：大沼町二丁目・六丁目 花小金井五丁目 美園町三丁目  浸水被害歴地区整備進捗率(%) = 浸水被害歴地区雨水管きよ整備済み区域面積 / 浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成22年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率 : 77.1%) (平成27年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率 : 92.3%) (平成29年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率 : 95.5%) (浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域) 654.6haのうち、浸水被害歴のある雨水管きよの未整備地区 124.06ha を対象として算出。 雨水管きよ整備率(%) = 公共雨水管きよ整備済み区域面積 / 公共雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成22年度末 雨水管きよ整備率 : 14.1%) (平成27年度末 雨水管きよ整備率 : 17.7%) (平成29年度末 雨水管きよ整備率 : 19.1%) (公共雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域) 654.6ha を対象として算出。 【浸水被害歴地区整備後期計画目標達成率 : 70.1%】 【雨水管きよ整備後期計画目標達成率 : 73.5%】
		(2) 雨水貯留・浸透施設の設置促進	目標	関係各課等との連携による設置促進	—	対象施策：「Ⅰ-2 合流式下水道改善対策」、「Ⅰ-3 雨水浸透対策」、「Ⅰ-4 資源の有効利用」を参照
		(3) 市民等との連携(被害軽減に対する取り組み)	目標  目標数値等	関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等の継続的な実施  浸水に対する情報提供、水防演習等の実施回数 : 3回/年	情報提供及び水防演習等の実施回数  4回	H30.5.19 水防訓練 H30.10.2 応急給水訓練 H30.10.14 総合防災訓練 H31.2.27 ウォーターパッカー取り扱い講習会  (平成27年度 : 3件) (平成28年度 : 3件) (平成29年度 : 4件)  【年度目標達成】

\*\*\*は、下水道プラン後期計画初年度の平成28年度以前からの数値を含む累計を示します。(以後同様)

★は、重点施策を示します。(以後同様)

分流式下水道 汚水と雨水を別々の管きよ系統で排除する方式。

基本方針	施策	後期計画期間 (H28~R2)	平成30年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
II 安全・安心なまちづくり	2 地震対策 ★	(1) 下水道施設の地震対策	目標 避難所へのマンホールトイレの設置	マンホール化 設置率 28.2% ・ <b>97.4%**</b>	平成26年度～平成30年度の5年度で、市内の全避難所39か所への災害用マンホールトイレ設置完了を目指す（後期計画期間では28か所設置予定）。  工事箇所数及び設置基数：11か所、70基 工事箇所：小平三小、小平五中、花小金井南中、小平元気村おがわ東、市民総合体育館、仲町公民館、鈴木公民館、上宿公民館、上水南公民館、津田公民館、大沼公民館  (平成27年度末設置箇所累計：11か所) (平成28年度末設置箇所累計：19か所) (平成29年度末設置箇所累計：27か所) (平成30年度末設置箇所累計：38か所)  【後期計画目標達成率：96.4%】
		目標数値等 避難所におけるマンホールトイレ設置率：100%	目標 対策優先順位が高い地区の点検・調査の実施		
	(1) 計画的な点検・調査の実施	目標数値等 点検・調査延長：105km (平成28年度から令和2年度まで)	目標 事業計画における選定路線の長寿命化対策	長寿命化対策達成率 21.6% ・ <b>68.4%**</b>	平成27年度に策定した、鈴木処理分区の長寿命化計画（計画期間：H28～H32、対策延長：3,471.9m）に基づき、平成28年度から鈴木処理分区の対策工事に着手。  長寿命化工事延長：748.1m  (平成28年度工事延長累計：741.2m) (平成29年度工事延長累計：1625.1m) (平成30年度工事延長累計：2373.2m)  【後期計画目標達成率：68.4%】
(2) 施設の長寿命化 ★	目標数値等 長寿命化対策達成率：100%	目標 長寿命化対策達成率：100%			

マンホールトイレ

災害時に、下水道管路にあるマンホールの上に簡易なトイレ設備を設け、使用するもの。

長寿命化

時間とともに老朽化していく施設の予防保全的な管理及び管きょ内面の被覆あるいは部分取替等により、施設の耐用年数を延ばし、機能を維持すること。長寿命化を効率的に行うため対策内容、規模、期間等を定める計画を「長寿命化計画」、施設の延命化を図り、かつ、ライフサイクルコストが安価となる対策のことを「長寿命化対策」という。



基本方針	施 策		後期計画期間 (H28~R2)	平成 30 年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
Ⅲ 環境意識を高める施策 1 環境学習の継続	(1) 下水道や環境に対する情報発信及び市民意見聴取	目標  目標数値等	下水道事業への取り組みについてのPRの促進及び市民意見聴取  ホームページによる下水道事業、イベント・展示情報等の情報発信：24回/年	ホームページでの情報発信回数  43回	学習講座のお知らせ：14回 特別講話のお知らせ：5回 イベント・展示会のお知らせ：12回 その他施策等に関するお知らせ：12回  (平成27年度更新回数：38回) (平成28年度更新回数：40回) (平成29年度更新回数：50回)  【年度目標達成】
	(2) 「ふれあい下水道館」の活用	目標  目標数値等	イベントの開催や展示の実施  イベント等開催回数：24回/年	イベント等開催回数  46回	イベント・展示等：19回 学習講座：21回 特別講話会：6回  (平成27年度開催回数：35回) (平成28年度開催回数：40回) (平成29年度開催回数：40回)  《参考》 (平成27年度来館者数：19,664人) (平成28年度来館者数：20,775人) (平成29年度来館者数：19,815人) (平成30年度来館者数：23,080人)  【年度目標達成】

基本方針	施策		後期計画期間 (H28~R2)	平成 30 年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
	Ⅳ 下水道経営基盤の強化	1 経営の効率化・健全化	(1) 計画的な 財政運営	目標 中期的財政見通しに基づいた計 画的財政運営		検討中
目標数値等 経営戦略の策定						
(2) 公営企業 会計への移行		目標 公営企業会 計への移行	移行完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度に引き続き、固定資産調査及び評価に係る作業を実施し、完了した。</li> <li>地方公営企業法適用に伴い、必要となる条例・規則の制定及び改正等を行った。</li> <li>公営企業会計に係る新たな財務会計システムを構築し、新年度の予算編成を行った。</li> </ul>		
		目標数値等 平成 28 年度 より移行準備 令和 2 年 4 月 までに移行				
2 収入の適正化		(1) 未接続家 屋の解消(下 水道への接 続依頼) 【再掲】	目標 下水道への 接続促進	未水洗家屋 の調査及び 現状分析	水洗化され ている可能 性が高い家 屋を中心に、 個別の聞き 取り調査及 び排水設備 の実態調査 を実施	個別訪問調査実施件数 117 件(163 世帯)  《参考》 水洗化率(%) = 下水道で汚水を処理してい る世帯数 / 処理区域内世帯数 × 100 (平成 22 年度末水洗化率 : 97.3%) (平成 27 年度末水洗化率 : 99.2%) (平成 28 年度末水洗化率 : 99.3%) (平成 29 年度末水洗化率 : 99.8%) (平成 30 年度末水洗化率 : 99.8%)
		目標数値等				
(2) 将来的な 収支の見通し を踏まえた下 水道使用料金 の検証	目標 収支改善に よる経費回 収率(汚水処 理費回収率) の向上	経費回収率 (汚水処理 費回収率) <b>153.8%**</b>	経費回収率 (汚水処理 費回収率)	経費回収率(汚水処理費回収率) (%) = 下水道 使用料収入 / 汚水処理費 × 100  (平成 28 年度末 : 129.3%) (平成 29 年度末 : 131.3%)  経費回収率(汚水処理費回収率)とは、汚水処 理に要した費用に対する下水道使用料の割合を 表しており、下水道事業の経営状況を表す数値 として用いられる。  【年度目標達成】		
	目標数値等 経費回収率 (汚水処理 費回収率) : 100%以上 を維持					

経営戦略 各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画

公営企業会計 独立した企業として経営を成り立たせていく会計制度。これにより財政の適正化、使用料金の最適化等へ結びつき下水道基盤強化に直接繋がる効果が期待される。

下水道使用料 下水道の維持管理費等の経費に充てるため、下水道管理者が条例に基づき使用者から徴収する使用料金のこと。



小平市下水道プラン進捗状況  
《平成30年度実績》

令和元年 月発行

編集・発行 小平市環境部下水道課

〒187-8701

小平市小川町二丁目 1333 番地

電話番号 (042)346-9846 (直通)

ファックス (042)341-9520

電子メール gesuido@city.kodaira.lg.jp

¥